

繋ぐ～ネットワークキング

今年は「繋」という字を色紙に書いて掲げました。漢字一文字で表した私の新年の抱負です。人口減少、少子・超高齢社会の本格化の中、孤立しがちになる地域やヒトやモノをさまざまな手段で「繋ぐ」こと、これが強く求められていると感じています。特に、輪や網のように繋がること、「ネットワーク」というものが重要です。そして今、私が最も大切にしたいと思っているネットワークが次の三つです。

一つ目は情報のネットワークです。世は高度情報化時代。インターネットの発達で世界中がフラットにリアルタイムで繋がっています。そんな中、昨年4月、G7香川・高松情報通信大臣会合が本市で開催され、成功裡(り)に終了しました。ICTが地域活性化に寄与することに共通理解が得られ、「デジタル連結世界憲章」が高松から世界に発信されました。今後、G7会合の開催都市の誇りを持って、IoTやAIと言った最先端技術の動向も見ながら、スマートシティ構想やデータの利活用などを進めてまいりたいと思います。

二つ目が交通のネットワークです。利便性が高く快適に暮らし続けられるまちを作っていくため、コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを進めています。中心市街地と地域の拠点に都市機能などを集約し、それを道路や電車・バスなどをつないでいくことが重要です。特に、広域的な利便性を高めていくために結節機能を強化しながら公共交通網をより充実させていく必要があります。そのため、ことでん琴平線の複線化や三条～太田駅間の新駅の設置などを具体的に事業化してまいります。

三つ目が福祉のネットワークです。地域における人と人のつながりを強化してコミュニティを再生し、多様な主体が参画して、住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体的に提供されるいわゆる地域包括ケアシステムを構築していくことが喫緊の課題です。高齢者が在宅を基本に、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けることができるような助け合いのネットワークが求められているのです。

「繋ぐ」こと、ネットワークキングと呼ばれる活動は、あらゆる分野における参画と協働のまちづくりに不可欠であり、地域の新しい創造や発展の原動力にもなるものだと思います。